

話題

自治会連合会山田支会が①山田市民センター建替え ②北部ふれあいセンターの豪雨時等の緊急利用 ③古川排水機場ポンプの増設整備を市長に要望

令和2年2月12日に川越市自治会連合会山田支会長齊藤明治(寺山自治会長)様、副支会長高梨良一(福田自治会長)様及び石井一朗(上寺山)様、増田光男(山田西町)様、宮下茂雄(北山田)様、河野隆夫(南山田)様、瀧澤常雄(府川)様、井上福治郎(石田)様の各自治会長の皆さんと一緒に川合善明市長に要望書を提出しました。山田市民センター(旧出張所と山田公民館)は建築から47年が経過し、老朽化が進み駐車場も狭いことやエレベーターもないなど利用に支障をきたしていることから早急な建替えとともに平成元年の台風第19号豪雨を踏まえて北部ふれあいセンターを一時の避難場所とすること及び浸水被害を防ぐために古川排水機場ポンプの増設整備を要望しました。



小ヶ谷自治会が水害発生時の避難場所について市長に要望

令和元年12月23日に小ヶ谷自治会長の高橋博様をはじめ役員の方々と一緒に川合善明市長に要望書を提出しました。令和元年台風第19号による入間川氾濫の避難勧告発令等の経験から実施した小ヶ谷自治会員への緊急アンケート結果を踏まえて、水害発生が予測される場合の避難場所として近隣の泉小学校、今成小学校、総合保健センターなどの公共施設を利用可能としてほしいこと。また、それらが不可能ならば自治会として近隣の民間施設に一時避難所としての利用をお願いしたいので、市からも賛同の文書がほしいことを要望しました。



旧川越織物市場整備 158,000千円

市指定文化財である旧川越織物市場を保存・活用し、若手のアーティストやクリエイターが3年間の創業支援を受けながら制作活動を行うための「文化創造インキュベーション施設」として整備する。平成29年度から令和5年度までの7年間の継続費事業で総額約10億4千万円である。

グリーンツーリズム拠点の整備 35,040千円

農業ふれあいセンターを中心に伊佐沼や田園などの周辺の自然的景観や農業とのふれあいをコンセプトとしたグリーンツーリズムの拠点づくりを推進する。令和2年度は農業ふれあいセンターの下水道実施設計や伊佐沼農産物直売所の改修や市民農園用駐車場整備を行う。

東清掃センター大規模改修 1,490,200千円

老朽化した東清掃センターの大規模改修工事を行い、施設の機能維持及び長寿命化を図る。令和元年度から3年度までの3年間の継続費事業で総額は約25億8千万円である。

武道館耐震改修 370,700千円

武道館の長寿命化を図るため、耐震補強工事及び設備等の改修工事を実施する。令和元年度から2年度までの2年間の継続費事業で総額は約6億1千万円である。

デマンド型交通事業【拡充】 30,803千円

乗り合い方式によるデマンド型交通の運行区域を拡大することで、交通空白地域における市民の移動を支援し、生活の利便性の向上を図る。

- ・市の中心部を除き、市域を3地区に分割し、地区内の乗降場間の移動を支援する。
- ・平成31年2月から「地区3」、令和2年2月から「地区2」の運行を開始した。「地区1」の準備を進める。

排水ポンプ車の導入 71,000千円

浸水被害を軽減するために排水ポンプ車1台を追加導入し、2台体制とする。車両管理用車庫も整備する。

江川流域都市下水路の施設保全整備工事 75,000千円

都市下水路の一部について蓋を撤去し護岸を整備する。また、フェンス整備及び舗装等を復旧する。

下小坂地内内水対策 5,000千円

下小坂樋管周辺の内水対策施設の設置に向けて、河川管理者と協議するとともに内水被害軽減のための施設整備の検討・設計を実施する。

市道0033号線整備 298,514千円

JR川越線と交差する箇所のでき道が狭いので通学の児童・生徒の安全確保のため、歩行者用でかい道整備(内径2.5m、高さ2.65m、延長16.7m)を令和2年度と3年度の2年間の継続費事業、総額約4億9千万円で実施する。

広域幹線市道0023号線整備 35,350千円

県道川越北環状線の終点部(国道254号線福田交差点)から東側への延伸計画(仮称川越東環状線)を推進する。県道川越栗橋線手前までの道路整備約80m。他に用地取得費(39,495千円)及び県道川越栗橋線との交差点改良のための用地取得費(71,406千円)及び整備費(3,350千円)並びに東側につながる芳野菅間地区の市道3571号線・3027号線の測量委託費がある。

川越駅東口駅前広場改修 752,300千円

利用者の安全性と利便性の確保を図るため川越駅東口駅前広場の改修工事を実施する。平成30年度から令和3年度までの4年間の継続費事業で総額は約16億円である。